

令和 6 年度事業報告

1 中期事業計画「2024-2026」の推進

「中期事業計画 2024-2026」に掲げた事業運営方針「サービス体制の充実を図り、利用者満足度の向上に努める」に基づき、それぞれの事業運営目標の実現に向け以下の取組みを実施しました。

(1) ICT の活用及び業務の改善・効率化

サンホーム豊田において、夜間帯に見守りが必要な利用者の安全確保と職員の負担軽減のため、見守りカメラを42台導入しました。また、法人において「ノーリフティングケア」を推進するため各施設に推進チームを設置するとともに、移乗用のスライディングボードに対応した肘跳ね上げ式車椅子を全施設に必要な台数分(54台)配備しました。また、体制が整った施設から順次、移乗支援機器の導入を進めており、昨年度は移乗支援機器2台、排泄支援機器3台を導入しました。

(2) 職員の資質向上

管理職員を対象とした「管理職級研修」、将来、管理職員として期待される管理者を対象とした「管理者スキルアップ研修」及び「初任管理者基礎研修」、若手職員指導力向上のための「チューター養成研修」、新卒採用者を対象とした「新人職員研修」といった階層別研修のほか、介護福祉士資格取得のための「介護福祉士実務者研修」や同職種ごとの交流を促進するための「職種別交流研修」を実施しました。

また、増加する外国人職員が仕事や生活に関する個々の悩みや困りごとなどを共有し相談し合える関係づくりのための交流会を開催し、12名の外国人職員が参加しました。

(3) 職員の確保

昨年度の中途退職者は、48名(5年度58名)、これに対し中途採用者は56名(5年度48名)となりました。うち、7名は特定技能「介護」による外国人を採用しております。

また、今年度の新卒採用者は24名(6年度16名)と昨年度を上回りましたが、介護・支援職員の確保は依然厳しい状況にあります。また、新卒採用者のうち7名は在留資格「介護」による外国人の採用となりました。

(4) 施設設備の計画的な改修・更新

とよた苑の老朽化した厨房施設の移築及び短期入所施設の個室化、入所者の食事スペースの拡大のための大規模修繕工事やケアハウス豊田のエレベーターの更新工事を実施しました。

(5) 事業所間の連携強化

デイサービス事業のサービス向上や業務改善のため、法人内他事業所の一泊業務体験を実施しました。

(6) 地域交流、地域貢献事業の推進

各施設においては、地元自治会との合同防災訓練の実施や地元行事への参加のほか、春緑苑では、地域住民を対象に VR を用いた認知症体験会や学習会の開催、大府の郷では、施設周辺の 4 地区で介護教室の開催、若草苑では、児童養護施設の児童や地元中学校の生徒、地域のボランティアの皆さんを招いた交流事業を実施しました。また、地域貢献事業として、若草苑では、事業所の車両を活用し地域住民を対象に買物支援事業を実施しました。

(7) その他

法人施設において発生する介護事故などに起因する訴訟事案や施設からの法的相談に対処するため、「弁護士法人フロンティア」の高橋弁護士と顧問契約を締結しました。

2 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催

ア 第 253 回理事会(令和 6 年 6 月 10 日)

【審議事項】

- ① 令和 5 年度事業報告及び決算について
- ② 令和 6 年度補正予算について
- ③ 定款変更について
- ④ 評議員選任・解任委員候補者の選定について
- ⑤ 定時評議員会の招集について

イ 第 254 回理事会(令和 6 年 12 月 13 日)

【報告事項】

- ① 職務執行状況の報告について

【審議事項】

- ① 令和 6 年度第 2 次補正予算について

ウ 第 255 回理事会(令和 7 年 3 月 10 日)

【審議事項】

- ① 令和 6 年度第 3 次補正予算について
- ② 中期事業計画の見直しについて
- ③ 令和 7 年度事業計画について
- ④ 令和 7 年度当初予算について
- ⑤ 保見の里隣接地の賃貸借契約について

- ⑥ 諸規程の改正について
- ⑦ 令和 7 年度資金運用計画について
- ⑧ 役員賠償責任保険の更新について
- ⑨ 施設長等の任免について

【報告事項】

- ① 令和 7 年 3 月新規学校卒業者の内定状況について

(2) 評議員会の開催

ア 第 78 回評議員会(令和 6 年 6 月 26 日)

【審議事項】

- ① 定款変更について

【報告事項】

- ① 令和 5 年度事業報告及び決算について
- ② 中長事業計画 2024-2026 について

3 令和 6 年度事業運営状況について

法人が運営するサービス事業は、「令和 6 年度運営施設(事業)一覧」(5頁)のとおり、春日井市、豊田市、大府市において 38 事業所の運営を行いました。

介護保険事業のうち特別養護老人ホームについては、全施設の平均稼働率が 97.1%と対前年度比 0.1%の増、収益ベースでは 3.4%の増収となりました。

短期入所事業については、平均稼働率が 82.5%と対前年度比 1.7%の増、収益ベースでも 10.0%の増収となりました。

デイサービス事業については、一般型の平均稼働率が 78.6%と対前年度比 3.2%の増、収益ベースではほぼ同水準となりました。認知症対応型では、平均稼働率が 64.6%と対前年度比 0.7%の増となりましたが、収益ベースでは 0.8%の減収となりました。

障がい福祉サービス事業のうち、春日苑及びサンホーム豊田の施設入所の平均稼働率が 97.8%と対前年度比 0.1%の減となりましたが、障害福祉事業全体の収益ベースでは 13.1%と大幅な増収となりました。これは主に令和6年度報酬改定により施設入所支援における重度障害者支援加算の新設等によるものです。

ワーカー鷹来の稼働率は 90.4%と対前年度比 17.6%の増、収益ベースでも 13.7%の増収となりました。これは主に定員を50名から40名に減員したことによるものです。

老人福祉事業については、若草苑の稼働率は 94.0%と対前年度比 13.1%の増、収益ベースでも 11.3%の増収となりました。

保育事業については、さくら保育園、さくら第 2 保育園の事業収益が対前年度比 13.0%の増収となりました。

支出面では、人件費が対前年度比で 2.0%増、人件費比率は 68.0%と対前年度比で 2.5%の減となりました。これは、全体収益の増が人件費の増を上回ったことによるものです。

次に、事業費については、水道光熱費が対前年度比で約 27 百万円、10.0%の増となりました。給食費は対前年度比で約 14 百万円、4.1%の増となりました。

また、事務費については、修繕費がケアハウス豊田のエレベーター更新に伴う改修工事、さくら保育園屋上防水工事等により対前年度比で約 19 百万円、23.8%の増、業務委託費のうち給食業者への委託費が約7百万円の増となりました。

その他、施設設備等による支出のうち主な固定資産取得支出として、とよた苑の厨房移築及び居室等改修費が約479 百万円、第2とよた苑の空調設備更新費が約 40 百万円、ケアハウス豊田のエレベーター更新費が約35百万円、サンホーム豊田の見守りカメラ設置費が約 13 百万円、ワーカー鷹来の空調設備更新費が約 13 百万円でした。